第　５　　財　政　状　況

１　中央卸売市場会計

(1)　財政状況

市場事業は、地方公営企業法の財務規定等の一部適用事業として、独立採算を原則に運営している。

市場会計は、昭和47年度から平成元年度まで経常損益での赤字が続き、昭和63年度の旧神田市場等の跡地売却に伴う受取利息の増加により、平成２年度から平成６年度まで黒字となったが、営業費用の増加と受取利息の低下などにより、平成７年度に再び赤字となり、それ以後、赤字幅が拡大した。

このため、今後の施設整備財源を確保し、市場財政の健全化を図るため、経費節減等事業の効率的運営を徹底するとともに、平成12年４月に16%（12年度８%、13年度14%、14年度16%の段階的実施）の使用料改定を行い、平成19年度に企業債繰上償還による支払利息の圧縮を行った。こうした取組により、平成12年度から平成27年度にかけて黒字で推移してきたが、平成28年度以降は、豊洲市場への移転準備経費の増加や豊洲市場の減価償却費等の影響などにより、赤字となっている。

こうした状況の中、中央卸売市場が都民に生鮮品等を円滑かつ安定的に供給する基幹的なインフラとしての役割を、将来にわたって果たすことができるよう、今後の市場経営のビジョンを示すものとして、令和３年３月に東京都中央卸売市場経営指針を策定した。また、令和４年３月に、指針で掲げた「2040年代の中央卸売市場の姿」及び「持続可能な市場経営」の実現に向けて、令和４年度から令和８年度までの５年間を計画期間とし、都が取り組む施策と財政計画を示す中期経営計画である、東京都中央卸売市場経営計画を策定したところである。令和６年５月には、更なる経営改善に向けた検討素材として、また、市場会計の置かれている状況や東京都の経営改善の取組等を分かりやすく発信することを目的に「東京都中央卸売市場会計経営レポート」を作成した。

今後は、東京都中央卸売市場経営指針及び東京都中央卸売市場経営計画に基づき、遅くとも2040年代の経常収支黒字化に向けた取組を推進し、持続可能な市場経営を実現していく。

(2)　令和６年度予算概要

中央卸売市場は、消費者ニーズの多様化や流通環境の変化、新型コロナウイルス感染症のような新たなリスクへの対応など、卸売市場を取り巻く環境が大きく変化する中にあっても、都民の日常生活に不可欠な生鮮品等の円滑な流通と安定した供給を確保するため、重要な役割を担っている。このため、各市場の現場における日々の課題解決と、東京都中央卸売市場経営計画の着実な推進を図るため、令和６年度予算においても限られた財源を重点的、効率的に配分して市場の抱える重要課題に対応できるものとした。

支出予算の総額は、866億５千７百万円で、令和５年度に比べ2.7%、金額で23億６千４百万円の減少となっている。

収益的収入と資本的収入の合計額は、234億８千４百万円となっており、収入と支出の差し引きでは631億７千３百万円となっている。

ア　収益的収支

収入としては、営業収益が184億１千２百万円余円で、内訳は、売上高割使用料が 37億９千１百万余円、施設使用料が89億８千７百万余円となっている。

営業外収益は、50億７千１百万余円で、内訳は、一般会計補助金が31億１千７百万円、受取利息等が19億５千４百万余円、となっている。

これら営業収益、営業外収益を合わせた収益的収入の合計は、234億８千４百万円である。

支出については、市場事業費の総額が453億４千５百万円で、そのうち、営業費用が339億４千８百万余円である。

営業費用のうち、人件費及び一般管理等に要する経費である管理費が198億８百万余円、業務の指導・監督及び生鮮食料品の統計資料作成等の経費である業務費については、１億９千６百万余円である。

減価償却費、資産減耗費は、固定資産の減価償却及び除却損等を計上し、139億４千３百万余円である。

営業外費用は、42億２百万余円であり、このうち、生鮮食料品の流通の安定及び消費者への食生活情報の提供等に要する経費である生鮮食料品流通対策費が、15億２千７百万余円となっている。

支払利息及企業債取扱諸費は、６億５千４百万余円で、その他、繰延勘定償却、消費税及地方消費税、雑支出を計上した。また、特別損失を71億９千２百万余円計上している。

イ　資本的収支

収入は、計上していない。

支出は、市場施設の整備等に要する経費であり、総額は413億１千２百万円である。

このうち、建設改良費は52億８千３百万余円であり、内訳は施設拡張費が４億９千４百万余円、施設改良費が47億２千６百万余円、工器具・備品等の購入に充てる資産購入費が６千２百万余円である。

今年度予算で計上した市場別の主な施設整備内容は以下のとおりである。

市場名	内　　容
豊　洲　市　場	監視カメラシステム改修工事
食　肉　市　場	市場棟南側冷蔵庫改修工事
大　田　市　場	事務棟西面サッシ外壁改修工事
豊　島　市　場	１・４号館トイレ改修工事
淀　橋　市　場	淀橋市場拡張整備事業準備工事
足　立　市　場	卸売場閉鎖化改修工事実施設計
板　橋　市　場	卸売場棟（青果）屋上駐車場防水工事
世田谷市場	南棟等照明器具取替工事
北足立市場	受変電設備改修工事
多摩ニュータウン市場	卸売場外周路面舗装補修工事
葛　西　市　場	花き棟エレベータ改修工事

その他、企業債償還金が360億１千万円、投資が９百万円、国庫補助金返納金が９百万余円である。

(3)　令和６年度中央卸売市場会計予算総括表

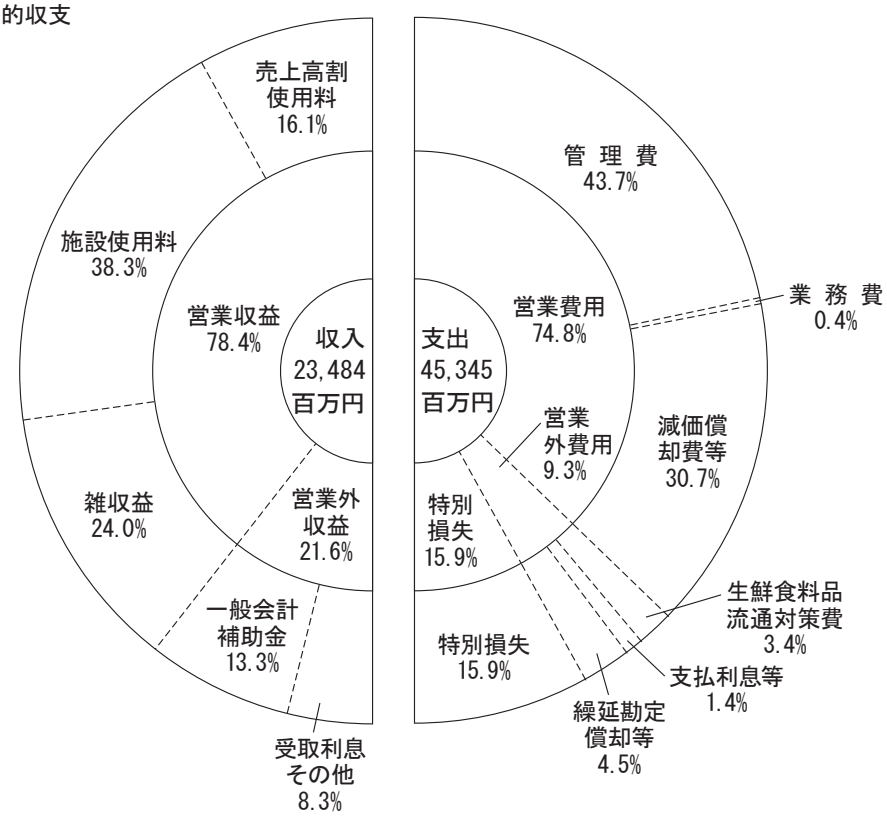
（単位：千円）

科目				令和６年度当初予定額	令和５年度当初予定額	増（△）減
収益的収支	収入	営業収益	売上高割使用料	3,791,444	3,741,237	50,207
			施設使用料	8,987,556	9,002,763	△ 15,207
			雑収益	5,633,521	5,478,875	154,646
			計	18,412,521	18,222,875	189,646
		営業外収益	一般会計補助金	3,117,000	3,107,000	10,000
			受取利息その他	1,954,479	2,073,125	△ 118,646
			計	5,071,479	5,180,125	△ 108,646
		特別利益		0	0	0
		合計		23,484,000	23,403,000	81,000
	支出	営業費用	管理費	19,808,244	19,707,456	100,788
			業務費	196,778	184,521	12,257
			減価償却費等	13,943,479	13,999,467	△ 55,988
			計	33,948,501	33,891,444	57,057
		営業外費用	生鮮食料品流通対策費	1,527,320	1,637,046	△ 109,726
			支払利息及企業債取扱諸費	654,657	947,926	△ 293,269
			繰延勘定償却等	2,020,887	365,345	1,655,542
			計	4,202,864	2,950,317	1,252,547
		予備費		1,000	1,000	0
		特別損失		7,192,635	6,683,239	509,396
		合計		45,345,000	43,526,000	1,819,000
	収支差引額			△ 21,861,000	△ 20,123,000	△ 1,738,000
資本的収支	収入	企業債		0	0	0
		一般会計出資金		0	0	0
		国庫補助金		0	28,000	△ 28,000
		その他資本収入		0	0	0
		計		0	28,000	△ 28,000
	支出	建設改良費		5,283,457	5,628,457	△ 345,000
		企業債償還金		36,010,000	39,848,000	△ 3,838,000
		投資		9,000	9,000	0
		国庫補助金返納金等		9,543	9,543	0
		計		41,312,000	45,495,000	△ 4,183,000
	収支差引額			△ 41,312,000	△ 45,467,000	4,155,000

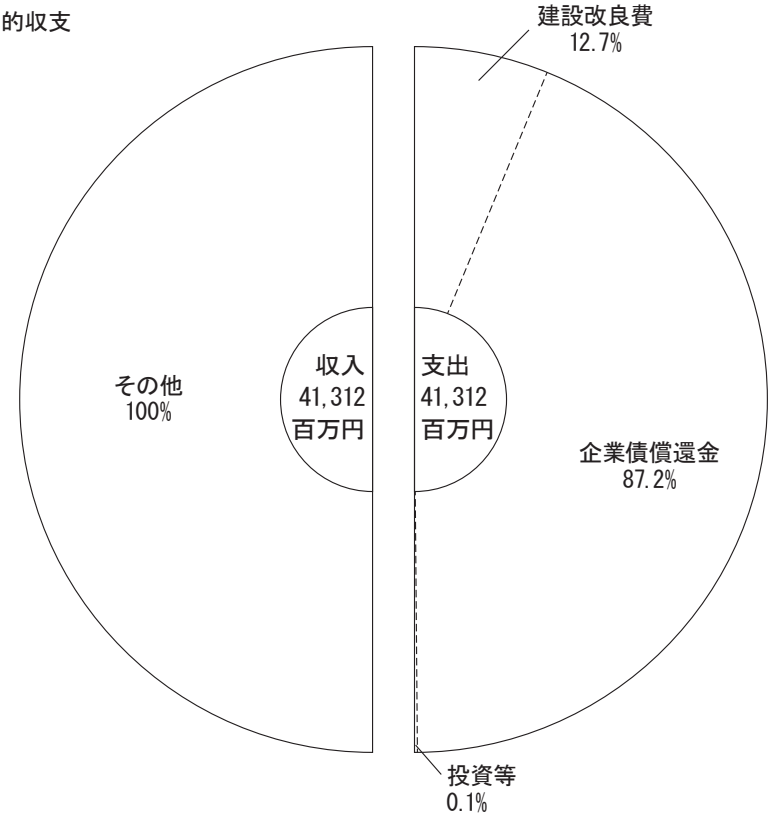
（注）資本的収入が、資本的支出に対し不足する額は、〔損益勘定留保資金その他〕をもって補てんする。

(4)　令和６年度中央卸売市場会計予算の構成割合

ア　収益的収支



イ　資本的収支



２　と　　場　　会　　計

(1)　と場会計の現状

と場における経常的経費の主なものは、と畜解体作業及びと場施設の維持管理に係る経費であり、財源としては、と畜使用料が主たる収入となっている。

また、施設整備については、と場施設の拡張、改良が主なものであり、その財源としては都債、一般会計繰入金等となっている。

(2)　令和６年度予算概要

と場会計は、芝浦と場の維持管理費及びと畜解体業務に係る経費を計上しており、予算の総額は、令和５年度に比べて　５億４千５百万円増の 67億４千４百万円となっている。

と場施設整備の主なものとしては、衛生等改善工事がある。

ア　歳　　入

と畜使用料及びと場手数料、一般会計繰入金、都債等で、歳入の合計額は　67億４千４百万円で、令和５年度に比べて　５億４千５百万円の増となっている。

イ　歳　　出

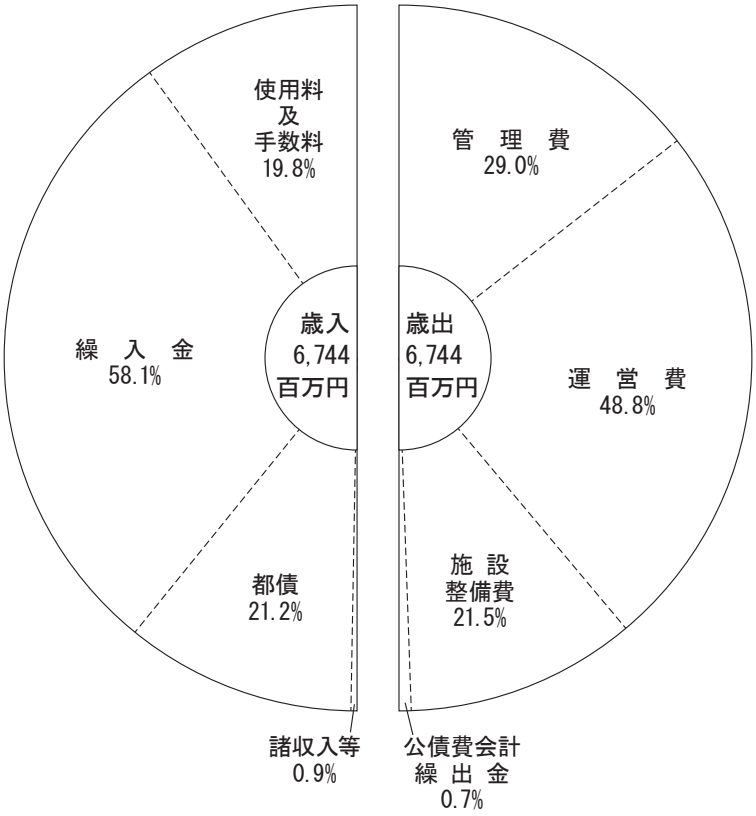
と場の管理・運営及び施設整備等に要する経費で、管理費、運営費、施設整備費等を合わせた歳出の合計額は　67億４千４百万円で、令和５年度に比べて8.8%、金額で　５億４千５百万円の増となっている。

内訳は、と畜事業に従事する職員の給料等である管理費が　19億５千２百万余円、と場の維持管理及びと畜解体作業に要する経費である運営費が　32億８千９百万余円、大動物棟、小動物棟、水処理センター等の整備に係る経費である施設整備費が　14億４千９百万余円となっている。

公債費会計繰出金　５千２百万余円は、都債の元金及び利子の償還金に充てるものである。

(3)　令和６年度と場会計予算総括表

（単位：千円）

科目			令和６年度 当初予算額	令和５年度 当初予算額	増（△）減
歳入	使用料及手数料		1,336,815	1,343,158	△ 6,343
	繰入金		3,920,000	3,682,000	238,000
	諸収入		57,184	55,841	1,343
	都債		1,430,000	1,118,000	312,000
	繰越金		1	1	0
	合計		6,744,000	6,199,000	545,000
歳出	と場事業費	管理費	1,952,497	1,916,969	35,528
		運営費	3,289,364	3,095,034	194,330
		施設整備費	1,449,852	1,135,107	314,745
		公債費会計繰出金	52,287	51,890	397
	合計		6,744,000	6,199,000	545,000

(4)　令和６年度と場会計予算の構成割合